

# Shipping Guide



日刊(土・日曜、祭日休刊) 昭和50年12月20日 第3種郵便物認可 1部416円  
発行所 株式会社 オーシャンコマース 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目2番11号(葵ビル)  
TEL:(03)3435-7470(編集)・7510(広告・スケジュール)・7630(販売・総務)  
FAX:(03)3435-7892(編集・広告・スケジュール) ☎:0120-827-773(購読・書籍のお問い合わせ、申し込み)

(4)

SHIPPING GUIDE, Friday, March 10, 2017

< 第三種郵便物認可 >

## 産別中央団交で産別最賃の議論も詰まらず

### 港湾春闘 | 12日の全日ストは回避も来週に改めて通告

日本港運協会と全国港湾労働組合連合会／全日本港湾運輸労働組合同盟は9日、港湾春闘第3回目の産別中央団交を開き産別最低賃金の改定を中心に話し合ったが詰めのところまで進まず夕刻5時5分にいったん打ち切られ、次回23日に団交を再開することになった。

一方、労働側が通告して

いた12日の全日ストは延期となり、ひとまず回避された。しかし、労働側は次回の団交の結果しだいで26日にも24時間ストを構える意向をみせ、来週には具体的に日港協に通告する見込みで、労働側は改めてスト含みで団交に臨むことになる。

3回目の団交では、産別

最賃の改定要求をめぐって攻防を展開、産別としての一本化した回答を求める労働側に対して日港協は統一回答をする意思はない、として個別交渉を主張した。この日は結局、昨年11月10日協定を追認する方法で、最低賃金法に則った各社別対応で論議し、これらを踏まえて次回以降の団交で詰め議論が進められる見通しだ。

団交ではこのほかに関連業種支援の取り扱いや港湾労働法の全港適用などもテ

ーマにあり、これらは団交と並行して小委員会で詰めることにしており、港湾春闘は今月下旬にかけ大きなヤマ場を迎える。